

阿蘇森林組合だより

令和2年7月豪雨により被災された方々に心よりお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復興・復旧をお祈り申し上げます。

第37号
2020年9月発行



丸山信義議長



令和2年6月26日 臨時総代会 開催（関連8項）



釣井賢議長



令和2年8月21日 第19回通常総代会 開催

今年度は役員改選の年でした。コロナウイルス感染症の万一の影響を鑑み、臨時総代会、通常総代会共に書面議決権行使をお願いし、更には来賓、表彰者の方々にも出席をご遠慮いただきました。通常総代会では、総代定数400名のうち、本人出席50名、書面議決書283名、合計333名の出席の中、第一号議案から第十号議案、及び付帯決議が議決されました。

目 次

就任のご挨拶	2
新役員の紹介～第8期役員	3
職員業務分担表	4
財務状況・剰余金処分・事業計画等	5
事業の取り組み紹介	6
関係団体紹介	9
下刈り現場の暑さ対策	10
阿蘇南郷檜ブランド化推進協議会	11
森林整備員募集他	12

就任のご挨拶

残暑が厳しい中、組合員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、令和2年8月21日に第19回通常総代会が開催されました。10件の議案が審議・可決され、第10号議案の役員改選においては、19名の方々が新たに就任されました。

また、前役員中11名の方々が退任される事になり、阿南忠治前代表理事組合長も令和2年度をもって退任されました。前組合長におかれましては、平成23年度から森林組合役員に就任され、平成26年度より代表理事組合長として、2期6年に渡って組合運営に多大なる貢献をいただきました。退任されました役員の方々に対し、厚く御礼を申し上げます。

私は、その後任として、総代会後に開催された理事会において、阿蘇森林組合代表理事組合長に選任されました、南小国町出身の河津宗範です。就任して、半月が過ぎましたが、その責任の重さを日々実感すると共に、組合長として組合員の皆様に少しでも貢献できるよう、阿蘇森林組合役職員一丸となって努力する所存です。

私は34年にわたる林業経営と森林組合役員15年の経験を活かして、若輩者ではございますが全力を挙げて職務に取り組んで参ります。組合員皆様のご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

今年度におきましては、現在も猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症は、林業・木材産業分野においても木材の需要や流通への影響が生じて、原木価格の低迷を招いており、大変厳しい状況にあります。

一方で地球温暖化防止のための二酸化炭素吸収源対策としての森林の役割や土砂流出防備水源涵養などの国土保全に対する重要性が認識されると共に令和元年度からの森林環境譲与税は、森林整備や担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等に活用することと規定されており、森林経営への期待が高まっています。

こうしたことを踏まえ、8月21日の総代会に提出されました令和2年度事業方針に沿って組合運営を進めて参ります。令和2年度は当組合としても正念場の年であると覚悟しております。

皆様方のご理解とご協力を願いしまして就任の挨拶とさせていただきます。



代表理事組合長
河津 宗範

新役員のご紹介～第8期役員

第19回総代会にて選任された第8期役員の方々の紹介を致します。

なお、同日開催された理事会におきまして、代表理事組合長及び代表理事副組合長、監事會におきまして代表監事が決定されました。役職員一同新たな体制で事業に取り組みますので、組合員の皆様にはご協力をお願いします。



代表理事組合長
河津 宗範



代表理事副組合長
興梠 壽一



理事
湯淺 正司



理事
高橋 一郎



理事
石山 篤昭



理事
岩瀬 幸喜



理事
岩本 宣博



理事
橋本 一幸



理事
甲斐 光洋



理事
矢津田 明文



理事
後藤 誠也



理事
本田 浩吉



理事
芹口 誠



理事
藤本 一行



理事
片島 信幸



代表監事
宅野 幸広



監事
村上 一成



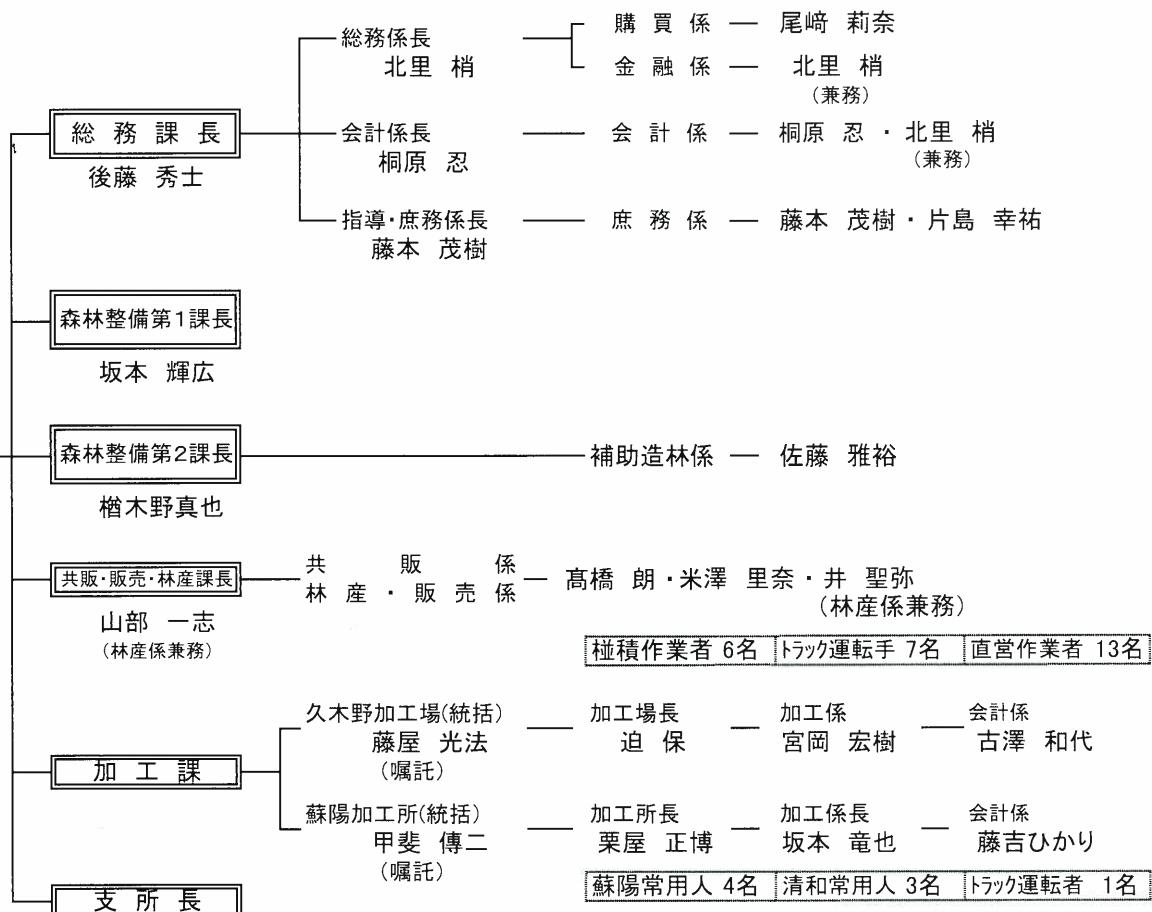
監事
後藤 重房



監事
藤田 一昭

職員業務分担表 ~令和2年9月1日現在

代表理事組合長 河津 宗範
参事 德永 浩文



事業所名	阿蘇支所 東部事業所	南小国支所	高森支所	蘇陽支所	南部支所 西原支所	蘇陽加工所 清和工場
支所長	古澤茂幸	佐藤武弘	佐藤志哉	富永安弘	亀井 崇	
共販係	—	佐藤武弘	—	—	—	
林産・販売	中村哲志 (課長補佐)	佐藤祐治 (係長)	佐藤志哉 小城健揮	富永安弘	浅尾隆太	(蘇陽) 楠田信弥 森 真幸 杉本大祐 木實真彦 田上千博 飯干正貴 堀山 涼 林裕一郎
配車係	中村哲志			小城健揮		
機関造林	古澤茂幸 安藤和貴	佐藤武弘 有働一信 (課長補佐)	有働一信 宇都宮勝幸 (課長補佐) 島川英輔 (係長) 江藤翔太 (臨時)	有働一信 (課長補佐) 島川英輔 (係長) 住吉光樹	亀井 崇	
造林・間伐	興梠雅史	鞭馬博幸 宮崎翔史				
金融 (改善資金含む)	古澤茂幸	佐藤武弘	佐藤志哉	富永安弘	亀井 崇	(清和) 甲斐直樹 富永優希
会計・購買	伊藤嘉州代 (係長) (東)工藤富美代 (臨時)	橋本尚子 (係長)	高橋千奈 (会計) 木山祐美 (購買) 長谷野隆博	岩下淳子 (係長)	桐原あゆみ (西)古澤久美子 (臨時)	
臨時	1 名	0 名	1 名	1 名	1 名	

第19回通常総代会提出議案関係書類の訂正とお詫び

通常総代会提出議案関係書類に間違いがございました。お詫びして訂正いたします。

資料変更箇所	正	誤
54頁1行目	森林組合総代選挙規程	森林組合役員選任規程

財務状況・剩余金処分・事業計画等

第19回通常総代会にてご報告しました、令和元年度(令和2年5月末)の財産の状況(抜粋)、及び総代会で決定していただきました剩余金処分の内訳をお知らせします。

貸借対照表(抜粋)

科 目	合 計	科 目	小 計	合 計
【資産の部】		【負債の部】		
流動資産	675, 264	流動負債	181, 805	
固定資産	316, 996	固定負債	163, 839	
		負債合計		345, 644
		【純資産の部】		
		出資金	348, 298	
		その他資本	298, 318	
		純資産合計		646, 616
	992, 260			992, 260

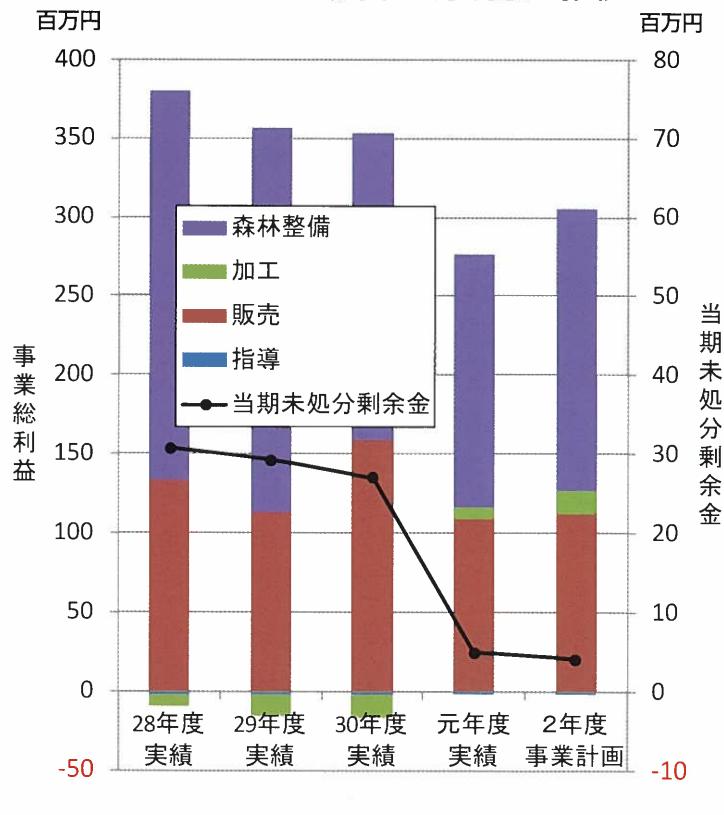
剩余金処分(決定)

単位:千円

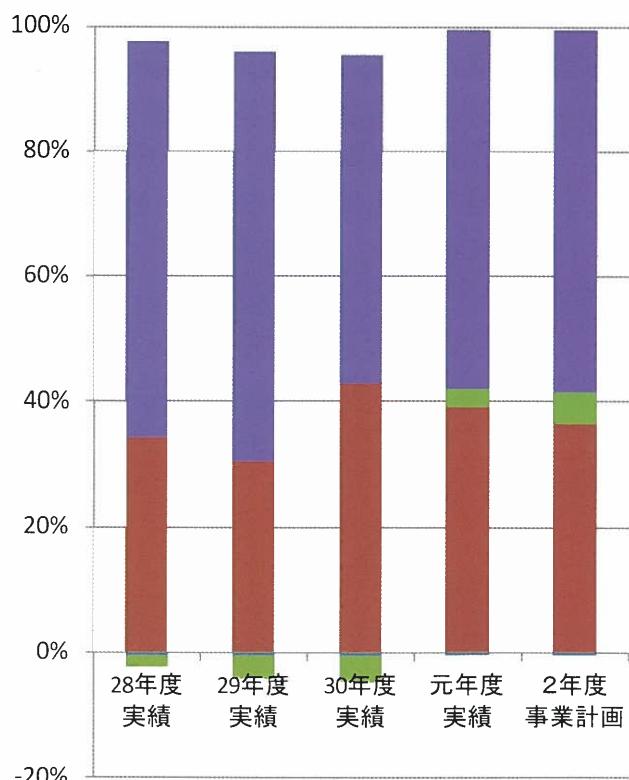
摘要	積算内訳	小計	合計
I 当期末処分剩余金			4, 957
II 剰余金処分額		600	2, 600
1. 法定準備金			
2. 任意積立金		2, 000	
損失補てん積立金		0	
機械・施設整備積立金		0	
3. 事業分量配当金		0	
4. 出資配当金	出資金額の1%	0	0
III 次期繰越剩余金			2, 357

年度別・部門別

事業総利益・当期末処分剩余金推移



事業総利益における部門別の割合



出典:第19回通常総代会 提出議案関係書類 P13、19、21、49

阿蘇広域林業研究会設立

当組合の有志職員が主体となり、他の林業事業体、林業関係者に呼びかけ、「阿蘇広域林業研究会」が、1月27日に設立されました。本会は、会員相互の林業技術や労働安全性の向上を図るとともに、会で行った研究・検討会の成果を、地域の林業関係者への周知、提案することで、地域全体の林業技術や労働安全性を向上させることを目的としています。本年度は優良種苗の検討を主に実施する予定となっています。



特定母樹の視察

1月に森林総合研究所林木育種センター九州育種場、3月に熊野岳国有林（玉名市天水町）の特定母樹の視察を実施しました。

特定母樹とは、平成25年5月に公布・施行された間伐等特別措置法の改正により、森林のCO₂（二酸化炭素）の吸収固定能力の向上のため、成長等に優れた樹木を農林水産大臣が指定したものです。指定基準として、以下の4項目があります。



- 1) 成長が良い：在来の系統の概ね1.5倍以上の材積
- 2) 材の剛性が同様の林分の平均以上
- 3) 採材に支障のない程度の幹の通直性
- 4) 雄花着花量が少ない：一般的なスギ・ヒノキの花粉量の概ね半分以下

成長が良い事で、植栽本数や下刈り回数の低減等、造林初期投資の削減や伐期の短縮が期待されています。

当組合では、今までの品種以上に成長、材の剛性、芯の色もよい品種を普及することにより保育作業の軽減を図ることを目標に掲げているため、この特定母樹を奨励していきたいと考えております。本年度に「阿蘇広域林業研究会」会員の協力を得て、数カ所ですが、特定母樹のみの植栽地を造成予定です。

通信インフラ整備事業に関する説明会

2月25日に株式会社フォレストシーの時田社長をお招きし、通信インフラ整備事業の説明会を開催しました。

今回説明を受けた通信技術(LPWA)は、地形等の障害に強く広域通信が可能で、見通しが良い場所では約100kmも電波が飛ぶそうです。更にインフラ整備が簡便であるというメリットがあり、既に宇城市などで鳥獣害対策への利用(わなセンサーのモニタリング)が進んでいます。

当組合では、安全対策の観点から、各自の携帯電話に依存した連絡体制となっている現状を、LPWA通信インフラの整備により改善していくため、関係市町村、関係団体に導入事例視察の予算措置をお願いしています。



センダン視察～広葉樹造林

2月26日に熊本県林業研究・研修センターの舞の原演習林にてセンダンの視察・実の採取を行いました。センダンは極めて成長が早く、標高500m以下の平地や緩斜面が植栽に適しており、ケヤキの代替木として期待されています。

19年生のセンダン(右写真)は、当初3m間隔で植栽されましたが、枝が一気に枯れあがってしまい、直径成長が小さくなつたそうです。そのため現在は5m間隔(400本/ha)で植栽していますとの事でした。

今回採取した種は、「阿蘇広域林業研究会」会員の所有地へそれぞれ植栽しました。標高の高い地域で対応できるかを試し、皆様へ情報提供ができたらと考えています。



林建・異業種連携協議会・講演会

当組合では、平成22年度より林業と建設業の連携を図るべく協議会を立ち上げましたが、建設業の仕事量が潤沢であったことに加え、平成28年度の熊本地震の復旧工事等があり、活動していない状況でした。しかし、大規模な復旧工事はいまだ続く中、市町村の建設業社が元請けで受注する小規模な復旧工事はおおよそ終息を迎えつつあります。

そこで、人員不足の林業と仕事量が減少し



ていく建設業との連携を再度検討する必要があると感じ、当組合が事業実施主体となり、新たに「南小国町林建・異業種連携協議会」を設立、造林業などとの異業種連携も目指し、3月2日に会議を開催しました。加えて同日に、「たかやま林業・建設業協同組合」専務理事の長瀬雅彦様をお招きし、講演をして頂きました。今年度は林業用機械の点検整備講習会や間伐現場での安全な伐採方法の勉強会、列状間伐の検討会を開催する予定です。

苗木運搬用ドローンの実演会

5月26日に高森町大字野尻地内にて、ドローンによる林業資材運搬の実演会を開催しました。

講師として高知県の株式会社エレパより川村裕之様をお招きし、県及び管内市町村や他の林業事業体にも声をかけ、約40名にご参加いただきました。

運搬用ドローンを利用すれば、これまで重労働だった苗木運搬の作業効率が大幅に向 上します。1回の飛行で重さ約15キロ(150ccの苗木40本入りを3袋程度)まで運搬可能です。実演会では、約200m離れた見通しのきかない現場まで、3袋の苗木120本を運搬しました。離着陸側と荷下ろし側に操縦者を各1名配置し、無線で連絡を取り合い、お互いが見える位置までドローンを移動させてから操縦権を移すことで、常にドローンを目視できる状態での安全な操縦が可能になります。

林道が未整備の山林や急峻な地形での活躍を期待しています。将来的には組合で運搬用ドローンを購入して操縦者を育成し、組合員への貸し出しを検討したいと考えています。



臨時総代会を開催しました

6月26日に臨時総代会を開催しました。本年度の役員改選について、書面議決で対応するために役員選任規程、規約を改正する議案のみを提案しました。臨時総代会では、総代定数400名のうち、本人出席60名、書面議決書282名、合計342名の出席の中、第一号議案から第二号議案、及び付帯決議が議決されました。

チェーンソー特別教育実施しました

8月24日から26日にかけて、高森総合センター、当組合高森支所にて、チェーンソー特別教育を「林業・木材製造業労働災害防止協会熊本支部」に依頼し実施しました。2020年8月から3日間の新しいカリキュラムとなって、初めての一般向けの開催で、約40名が



参加し、チェーンソーの各種知識や関係法令等に加え、点検整備の方法や伐倒手順を学び、修了証が交付されました。

出水神社社殿前鳥居竣工除幕式開催

「水前寺成趣園(国指定名勝・通称水前寺公園)」に鎮座する出水神社にて、8月28日に社殿前鳥居の竣工除幕式が開催されました。2016年4月の熊本地震により、神社に3カ所あった石の鳥居は崩壊したそうです。今回再建された鳥居は、神社が所有する阿蘇郡西原村の山林で育った南郷檜の大木が活用されています。当組合は2017年にその大木の伐採、山林の間伐に従事させていただきました。稀有な機会をいただき、大変感謝しております。無事に建立されましたことを心よりお祝い申し上げます。



除幕式の様子

関連団体紹介

高森町森林集約化協議会 事務局 佐藤輝男



集約化協議会では現在自分の所有山林を整備して行けるかどうかを、山林の意向調査という形の文章で調査を実施しております。皆様方の率直な意見など書いて頂けると大変参考になります。高森町の山林所有者様に隨時郵送しております。返信の程よろしくお願いします。

問い合わせ窓口：高森支所内

E-mail: t.sato.takamori@gmail.com

TEL: 0967-62-0769(高森支所)

FAX: 0967-32-1959(高森支所)

阿蘇南郷檜ブランド化推進協議会 事務局 高田美穂



阿蘇南郷檜ブランド化推進協議会は、ナンゴウヒの知名度向上による地域林業の活性化に繋げることを目標とし、ナンゴウヒを次世代へ継承するとともに、効果的な販売に向け取り組んでいます。これから植栽することをお考えの方、枝打ち・間伐などの手入れ、より良い造材方法等についてお問い合わせください。

問い合わせ窓口：高森町役場農林政策課内

E-mail: miho-t@town.kumamoto-takamori.lg.jp

公式 HP : <https://aso-nangohi.com/>

TEL: 0967-62-2915(直通)

FAX: 0967-62-1174

下刈り現場の暑さ対策～寄稿：菅原俊和

殺人的暑さと形容された今年の8月。下刈り現場での個人的な暑さ対策を紹介。

- 1、朝のうちにテント、キャンプ用タープ、ビーチパラソルなどを設営し、休憩時の日陰を確保。
- 2、作業服だが、私の場合は体が汗でべたつかないようメッシュの長袖下着。そして吸汗速乾性能の高い長袖。刈払機を吊るす肩バンド。凍らせた100ccの保冷剤を4個セットしたメッシュベスト。なお保冷剤は1時間で用を足さなくなるので1日あたり24個を用意。最後に、小型バッテリーで小さなファンを高速で回転させ、ジャケット内に風を行き渡らせるファンジャケット(空調服)の順で着用。ちなみにジャケット右側下部にチャックがあり、そのチャックを開けたところに肩バンドと刈払機の接続部分を通せるようになっている。(写真②)
- 3、休憩時に大事な事は、火照った身体を冷ますこと。毎日クーラーボックス2つに分けて、飲料用として前日から冷やした500mlペットボトルの水6本に1Lのポカリスエット。身体を冷やすために濡らした吸水保水能力の高いタオル6枚に、凍らせたペットボトル8本。加えて、それらを1日冷たく保つために大きめの保冷剤を6個用意していく。
- 4、熊本県の6月1日の日の出は5時10分、8月31日は5時51分。下刈りシーズン中は早朝を活用し、気温が30度未満の時間を有効に使う事は、言うまでもないことだろう。
- 5、最後に。意識がシャキっとしていないと、どうしても誤伐が増えてしまう。作業時及び休憩時とも工夫をし、体温管理に努めることは下刈り作業の絶対条件であろう。



寄稿:阿蘇林業保険組合 菅原俊和
(下刈りは今年で20シーズン目)

阿蘇南郷檜ブランド化推進協議会 ～令和2年度見本林設置事業～

見本林を募集します！

募集期間:10月30日(金)まで

阿蘇南郷檜ブランド化推進協議会では、阿蘇南郷檜の森づくりの見本となる山林を募集します。見本林として選定された山林には、目標となる施業方法、木材利用方法、森づくりの名称など森林所有者とデザインした案内板を設置し、森林教育や林業技術伝承の森として目標となる山林を認定します。

※自薦、他薦にて多くの山林情報を教えてください！

目標となる育成方法とは…？

1. 造林期間（40年生程度まで）、将来木（優良材生産）施業を目指している。

【将来木施業とは…】

- 枝打ち、保育間伐（劣勢間伐）を実施している
- 獣害対策（防護柵、単木資材）を実施している

2. 育林期間（60年生程度以上）、長伐期（大径木生産）施業を目指している。

【長伐期施業とは…】

- 定量間伐でなく定性間伐を実施している
- 間伐、択伐を実施している
- 皆伐をする予定がない
- 針広混交林を目指している



募集対象山林

1. 阿蘇地域管内（阿蘇市、南小国町、産山村、高森町、南阿蘇村、山都町、西原村）のナンゴウヒ林であること。

※スギとの混交林を含みます。

2. 林齢は20年生以上の山林であること。

※枝打ち高3～4m以上、除間伐が実施されていること。

3. 面積0.30ha以上ある程度まとまった山林であること。

阿蘇南郷檜の森づくりを次世代へ！

【問合せ先】

阿蘇南郷檜ブランド化推進協議会

(高森町役場 農林政策課内 担当：高田 / 高倉)

〒869-1602 熊本県阿蘇郡高森町大字高森 2168 番地

TEL: 0967-62-2915 FAX: 0967-62-1174



直営作業者の紹介～林業の魅力は？



伊藤 大智(20歳) 阿蘇市一の宮町在住

【林業を始めたきっかけは？】

祖父が山仕事をしていた。使われなくなったチェーンソーが家にあり、使ってみたかったので、林業の道を選択。平成31年4月から、くまもと林業大学校（第1期生）にて勉強を重ねる。令和2年4月から当組合の森林整備直営班として勤務。

【最近気になったことは？】

9月中旬に熊本県林業技能競技会に出場するので、研鑽を積んでいる。

【林業での心がけや魅力】 常に安全、仕事の質、生産性を意識している。

林業機械展示即売会中止のお知らせ

新型コロナウイルスの影響を受けまして、今年度予定しておりました全ての地区的林業機械展示即売会を中止いたします。ただ、例年この機会にと準備をされていた方も多いと思います。つきましては後日、特売期間を設けて、展示会価格にて資材を提供できる機会を準備中です。決まり次第ご連絡させていただきます。

森林整備員募集！

当組合では、森林整備員を募集しています。ご希望の方は、必要書類を以下の送付先に送付願います。選考結果は電話または郵送にてお知らせします。

問合せ・送付先

〒869-2224 熊本県阿蘇市蔵原885-1

阿蘇森林組合 総務課 宛

電話番号 0967-34-0335

- | | |
|---------|-----------------------|
| 1. 職種 | 高性能林業機械の操作（木材の運搬）、伐採等 |
| 2. 条件 | 18歳～65歳未満 |
| 3. 給与他 | 月給20万円～（経験、及び技術を考慮） |
| 4. 勤務時間 | 8時～17時30分 |
| 5. 選考 | 面接試験（試験日は後日連絡） |
| 6. 受付期間 | 随時（履歴書提出） |

発行

阿蘇森林組合 総務課

〒869-2224 熊本県阿蘇市蔵原885番地の1

Facebook：阿蘇森林組合で検索して下さい。

TEL. 0967-34-0335

FAX. 0967-34-0467

ホームページ：<http://aso-forest.jp/>